

事業計画書

2024年6月1日から2025年5月31日まで

特定非営利活動法人教員サポート Smile ういんず

1 事業実施の方針

・必要な子どもや教師にもっと届くサポート事業

学校現場では年度当初から人員不足が発生しており、学校内でカバーすることにも限界がある。心身の不調に気づいても休みがとれず、無理をして休職してしまうという悪循環も起きている。個々の教員が安心して休暇を取れるように必要な時に気兼ねなくサポートを申し込んでもらいたいと願っている。

学校サポート事業では、市教委委託のクラスサポートのニーズが高く、近年数か月で終了してしまう現状がある。今年度は6月から開始できたが、何月まで予算が続くかわからない。それに鑑み、新事業である「笑顔で進級！自信アップサポート」を開始する。新潟労働金庫様からの寄付金をもとにクラスサポートの終了後、2か月程度ではあるが、学習支援が必要な子どもに学力の定着を促すサポートを実施する。担当不在サポートは昨年度実施したテーマ型募金を原資として計画的かつ柔軟に学校の要請にできる限り対応していく。個々の教員のヘルプの声を管理職がすくい上げてくれるよう直接的間接的に働きかけたい。また、市教委委託事業のクラスサポーター事業は、来年度は抜本の見直しと言われている。市教委と課を超えて話し合い、学校の困難に当法人が力を貸すことができるように知恵を絞りたい。

ねこの手サポート事業（有料）については近年低調ではあるが、PTAや教育団体に働きかけ、人員不足の中の現職教員の負担軽減に協力したい。利用例を挙げながら広報し、需要を掘り起こす。個人サポートはここ数年依頼が0なのでしばらく休止する。

サポート事業には安定した活動費確保が欠かせない。新たな助成金申請先やクラウドファンディングの可能性を探っていきたい。

・サポーターの健康・安全とやりがいに配慮

6月現在提供会員数は66名、毎年健康上の理由等で退会する提供会員が数名いるが、子育て中の若い方が入会するなどサポーター数は安定している。仕事を持ちながら当法人の活動に参加している人も多い。各自の事情を考慮しながら得意を生かしてやりがいをもって活動できるように配慮していく。そのために今年もサポート対応者一覧表を作成してサポート対応の回数やサポートの実情を把握し、共通の問題があれば情報共有していく。学校現場の変化に戸惑いの声もあるが、情報交換や必要な研修を実施するなどしてサポートに役立ててもらおう。

・無理なくつながる事務局運営

サポート依頼の増加に伴って事務局の仕事量は増すばかりであるが、設立当初の合言葉「無理をしない」に立ち返って営業時間を守り、仕事を見直したい。管理費への助成金がなくなる今年度、今あるものを活かしながら、力を入れるところを定めていきたい。駐車場の時間制限のため会議費が高騰しがちなので軽重を考えて場所を選んでいく。グーグルミートやLINE等を活用し、省力化できるようにしたい。「PC相談室」「財務相談」「運営相談」など事務局外部の専門家に相談しながら事務局を無理なく運営していきたい。

・個々の教員のニーズを拾う広報、学校サポートのシステムを広げる広報

サポート先で個々の教員の声を拾い、新事業を含めてSmile ういんずを気軽に使ってもら

う広報に力を入れたい。外部に向けて広報することで、資金援助者を増やすばかりでなく、学校サポートのシステムが広がるように情報を拡散していきたい。昨年度ご縁のあった全国の皆さんとも連携を保って情報交換していく。市教委との連携に努め、教員と子どもたちがこれからの学校と社会の変化に適応しやすくなる環境作りを考えていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定場 所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支 出 見込み額
退職教職員の 実働を提供し て小・中学校 をサポートす る事業 (学校サポー ト事業)	・学校の依頼を受 けて担任等の不 在時に学習等の サポートをする。 (担当不在サポー ト)	・2024年 6月～ 2025年5 月	・新潟市内 全区の小中 学校・東西 特別支援学 校	42人	・サポー トに入 った学 校の児 童・教 職員 (160 校)410	410 コマ 1245 千円
	・市教育委員会の 委託を受けて特 別な配慮の必要 な子どもを含む クラスのサポー トをする。 (クラスサポー ト)	・2024年 6月～ 2024年 11月	・新潟市内 全区の小学 校	34人	・サポー トに入 った小 学校の 児童・教 職員 (65 校)	257 コマ 1731.8 千円
	・学習支援が必要 な子どもに学力 定着を促すサポー トをする。 (自信アップサポー ト)	・2024年 12月～ 2025年1 月	新潟市内の 全区の小学 校	30人	・サポー トに入 った小 学校の 児童・教 員 (38 校)	150 コマ 1000 千円
教育団体等の 繁忙期をサポー トする事業	・学校等の依頼を受 けて事務作業 に特化したサポー トをする。 (事務作業サポー ト)	・2024年 6月～ 2025年5 月	・新潟市内 の幼小中学 校 ・教育関係 団体	16人	・サポー トに入 った学 校や団 体の職 員 (7校)	24 千円

<p>(ねこの手サポート事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育団体及び子育て団体等の運営などをサポートする。(運営サポート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年6月～2025年5月 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談して決定した場所 	<p>14人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートした教育団体(8件) 	<p>60千円</p>
<p>セミナー・イベントを行う事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創立10周年を祝う会 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年11月16日 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートホテル 	<p>50人</p>		<p>440千円</p>